

# 福岡県剣道連盟 居合道だより

第077号 平成24年12月1日発行  
発行 (社)福岡県剣道連盟居合部  
<http://iai.riai.info/>  
発行人 井手 友太  
〒819-1132 糸島市有田36番地-1  
Tel:092-322-0847  
編集人 上田 武尚  
〒800-0201 北九州市小倉南区上吉田2-2-16  
Tel:093-473-7323

## はじめに

福岡の初冬を告げる風物詩、大相撲九州場所が終盤を迎え、この号が出る頃には当然本場所は終わっている。今場所もやはりモンゴル勢東西横綱のいずれかが優勝だろう。

古い話で恐縮だが、今から40数年前、いわゆる砂かぶりで観戦したことがあった。当時の大相撲は柏戸、大鵬の全盛期で大変な盛り上がりようだった。その日の結びの一番は横綱柏戸対大関琴櫻の好取組だった。

大型のしかも荒々しい攻めを得意とした両力士の対戦は、毎場所相撲ファンにはたまらない魅力だった。両者が頭から当たった瞬間、ゴツンと、岩と岩がぶつかるような大きな鈍い音がした。

あとは柏戸が強烈な のど輪で一直線に押し出し、勝負はあっけなく終わった。

引き上げるとき琴櫻が「チクショウ！」と吐き捨てた。その時は、相手に対し思わず口走ったと感じていたが、筆者が年を重ね、それなりに居合道に励んでいた時ふと、あれは紛れもなく、不甲斐ない己に対する言葉だったのだ、との思いに至った。

琴櫻は相撲の取り口のせいで怪我が多く、幾度も引退の危機があったが諦めず、普通ならとっくに引退していてもおかしくない32歳で第53代横綱に昇進した。猛牛とも姥桜の狂い咲きとも言われた史上1位のスロー出世であった。

どんな時でも諦めず妥協せず今の地位に満足せず、全身全霊で相撲道に打ち込んだ琴櫻は、牛歩でも遅咲きでもついに頂点に登り詰めたのである。

「諦めるな！妥協するな！満足するな！」だよ、剣友諸君。

## 主な出来事

### 11/17 (土) 居合道段位審査会 (6・7段)

東京都

今年最後の審査会が東京の江戸川区スポーツセンターで開催された。受審者数は昨年とほぼ同じで六段では、233名(福岡県より8名受審)七段では、120名(福岡県より3名受審)だった。結果は以下の通り。

	受審者数	合格者数	合格率
六段の部	233名	46名	19.7%
七段の部	120名	29名	24.2%

福岡県の合格者は次の方々です。(敬称略)

六段の部 高嶋 憲一郎、 中島 邦彦、 柿坂 定美、  
七段の部 東 昌秀、 世利 慎吾、

昇段おめでとうございます。益々のご活躍を祈念致します。

# 大会だより

## 10/7(日) 第50回高知居合道大会/第25回高知居合道女子大会

南国市立スポーツセンター

歴史ある本大会に今年も総勢700名を超える剣士が全国より集まった。特に全日本居合道大会直前の大会とあって気合の入った試合が展開された。本県かあかも19名が参戦し日頃の稽古の成果を十分に披露した。結果は次の通り(敬称略)

男子の部 二段の部 三位 藤本健一  
四段の部 優勝 荒木正亨  
女子の部 三段の部 優勝 磯野美佐緒

## 居合道教室紹介 9月に開校した各居合道教室を紹介します。ご声援をお願いします。



## 12・1月の予定

12/9 居合道部錬成会/級審査会

福岡武道館

1/20 初稽古会/理事会

福岡武道館